

商工会を使って記帳からスタート! 金融・コロナ施策活用、法人化も実現!

株式会社 石橋設備
代表取締役社長 ▼ ISBASI HIROCHIKA
石橋 弘親さん



Company Data / 会社概要

株式会社 石橋設備

【創 業】平成11年1月(令和1年法人化)
【所 在 地】三芳町藤久保
【従業員数】1名(ほか役員1名)
【事業内容】一般住宅等のリフォームに係る給排水設備工事など

事業内容と特徴

平成11年に創業、主に三芳町から都内周辺を商圏に個人宅から高層マンションまでの給排水設備設置工事をしています。特徴は確かな工事なんです、それは当たり前です。お客様に感謝し、お客様から感謝してもらえ、お仕事が特徴です。

新型コロナの影響と対策

7月に突然受注減に見舞われました。まずは主力受注先からこの先の見通しについて詳細な情報収集を行い最悪の状況を想定して、顧問税理士と商工会に相談し、新型コロナ関連施策を活用しました。具体的には時期を見定めた給付金、経営指導員とのやり取りで迅速に資金調達ができる新型コロナ対策マル経融資です。受注減の間は、今後受注増加の際の新しい生活様式に応じた現場でのコロナ対策の準備に時間を使いました。

商工会を活用したきっかけ

多少恥ずかしい話で今だからできますが、受注が堅調推移ということもあってか数年程前に税務調査を受けかなりの納税を行いました。それがきっかけで商工会に相談し記帳代行と税務申告相談を活用して青色申告のメリットを得られる適切な税務申告を行うに至りました。その後も堅調推移があり、経営指

導員に法人化の相談をするとメリット・デメリットを解説してくれて、同時に今後10年間の法人・個人の税制活用などを具体的な数値から比較検討できるよう専門家相談の活用をその場で即座に提案してくれて次週には手配してくれました。

記帳サポートサービス、マル経融資、専門家相談の活用

商工会の記帳サポートは単なる代行でなく指導を受けられるので私の記帳に関する知識と計数管理能力も向上しましたし、結果、今は自計で月次処理ができています。マル経融資は正直、一昨年に経営指導員の提案を受けるまで知らずにいて、こんなに有利な国の融資があったんだと、今まで使っていなかったことを残念に思いました。ありがたいのは毎回経営指導員が次回の融資とその計画までヒアリングして提案をくれることです。専門家相談は計画ができて法人化の決断ができたこと、土業の繋がりが得られたことなどの全てがプラスでした。

今後の経営ビジョン

リーマン時の比でない予測が難しい未来です。だからこそ予測、計画は大事だと思います。自分はこの仕事で生きていくと決めていますので必ずコロナを乗り越りたいと思います。

(取材／経営指導員 中村哲彦)